

平成30年1月31日

# 県木協だより

編集発行 宮城県木材協同組合  
仙台市青葉区東照宮一丁目 8-8  
TEL 022-233-2883  
FAX 022-275-4936  
E-mail:miyagi\_wood@waltz.ocn.ne.jp  
URL:http://www.miyagi-wood.jp/

## 謹賀新年



年頭のご挨拶

理事長 佐藤 豊彦

新年おめでとうございます。

皆様方には希望に満ちた新春をお迎えることと、お慶び申し上げます。旧年中は、本組合の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も、全国的に豪雨や台風が相次ぎ、仙台では七月から八月にかけて三六日間の連続降雨があり、八六年ぶりに記録更新されるなど、異常気象が続きました。

木材業界においては、業界全国紙による十大ニュースのトップは住宅需要堅調による企業高収益とか。当地では復興需要も続き、住宅着工数も大震災以降二万戸を継続していることから、総じて荷動きもあり、堅調ではありませんが、「高収益」という実感は中々つかめず、中央や大手との格差を感じさせられるところです。

さて、「豊葦原の瑞穂の国」日本の原点は農林水産業の第一次産業にあると思います。それらを支える水を生み出すのは森林です。豊かで清らかな水は田畑を潤して季節の実りをもたららし、やがて豊穡の海を育みます。

日本最古の企業は奈良の第二次産業の木材加工建築業でした。木の文化は古より続くもので、「ウッドファースト社会」はこれからの目標ではなく、守り継ぐ遺産です。

第三次産業の木材の流通販売は水に大きく関わっています。重くて嵩ばる木材は今も昔も水運が要です。また水中貯木もあります。貞山運河、東京の仙台堀などは重要な木材運搬施設でした。今でも木材は大型船による国際商品です。第一次から第三次産業まで含む

当組合員の関わる世界は、このように、時間的にも空間的にも大きな広がりを持っております。

その中で各々が自分の立ち位置をしっかりと見定め、先行きを見通すことが肝要かと思われま

これからの明るい話題としましては、長年森林・林業・木材産業関係者の悲願でありました森林環境税の創設が決まりました。二〇一九年度からは市町村を主体に森林整備関連事業が始まる見込で、地域の林業木材産業の活性化が期待されます。

宮城県 C L T 等普及推進協議会の活動も活発です。昨年末には東北大のモデル施設も完成し、民間での利用事例も増えつつあり、県の林業技術総合センターの完成も待たれます。

当組合としましては今後も県産材の安定供給と木材需要拡大に取り組んでまいりますので、皆様方の力強いご支援ご協力をお願い申し上げます。結びに、本年の木材産業の発展と皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

絵 豊彦



# 新年のご挨拶



宮城県農林水産部  
林業振興課長

高橋 壮輔

あけましておめでとうございませう。

宮城県木材協同組合員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、本県林業行政の円滑な推進と木材産業の振興につきましては、日ごろ格別の御協力と御尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、昨年は、復興需要が終盤を迎える中、新設住宅着工戸数は前年並みを維持し、大型製材の生産増強や非構造用合板の生産強化、木質バイオマス需要の増加など、県内の木材需要が多様化していることを実感できる一年だったのではないのでしょうか。

一方で、林業の成長産業化を目指して、今後さらなる県産材活用と、その需要に安定して応えることができる林業の仕組みを構築していくことが大きな課題であります。

このような中、国では、「森林環境税」（仮称）の創設を決定するとともに、自ら森林管理を行うことができない所有者の森林を、意

欲と能力のある林業経営体に委ねて、生産性の高い林業経営を促す「新たな森林管理システム」の実現に向けて検討が行われています。

また、県においても、今年度は、三月に公表を予定している、今後十年間の森林・林業・木材産業の中長期的な指針である「新みやぎの森林・林業の将来ビジョン」に基づき、新たな木材需要の創出や、主伐・再造林による森林の更新、林業の担い手対策などの施策を引き続き推進してまいります。

今年も、県内初となる三階建てCLTパネル工法建築物の完成や、大型バイオマス発電所の稼働、大型製材工場における本格増産など、新たな県産木材の需要拡大に向けた取組が進められる予定であります。

県といたしましては、県内林業・木材産業の発展に向け、一層努力してまいりますので、皆様方には引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のこの一年の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます、年頭に当たっての御挨拶といたします。

## 地域から

「気仙沼地域の県産材利用の取組」

宮城県気仙沼地方振興事務所

海の環境に恵まれた当管内は、一方、県

内で最も森林比率が高い（七二％）地域でもあり、震災復興では林業・木材産業が果たした役割も大きく、取組の一端をここに紹介いたします。

## 「協議会方式」による災害公営住宅

震災後間もない仮設住宅建設段階で、南三陸町では、森林組合や建設関係者からなる協議会を結成し、町との協議で一部の仮設住宅建設を決定、八月までに十五戸の木造仮設住宅が建設されました。これを契機に翌平成二四年四月には「木造災害公営住宅建設推進協議会」が組織され、地域の建設関係者が一丸となり「町産材活用」を核とした整備基本協定を町と締結し、建設が進められました。

この流れは、他市町にも波及し、その後各地で地域材に密着した災害公営住宅建設が相次ぎ、生活再建と地域復興を加速させました（実績…気仙沼市七六八戸、南三陸町九二戸全県二千五百戸）。全国初の取組の「協議会方式」による公営住宅建設でしたが、逆境下での挑戦が大きな流れへと発展しました。



取組の先駆けとなった歌津地区木造仮設住宅

## FSCによる森林認証を取得

続いて、南三陸町と他四森林所有者で組織する南三陸森林管理協議会は、平成二七年十月、森林の国際管理基準に基づく森林認証（FSC・FM認証）を県内で初めて取得しました。当地は藩政時代からの良材産地であり、震災前からFSC認証取得を検討していましたが、環境共生・循環型の町震災復興指針と、森林管理の役割と持続性を明確に目標に据え、約千三百鈴のエリアの認証取得に踏み切りました。



FSC 認証取得 H27.10

## 森林認証材活用に向けた取組

木材消費者から認証材が優先的に選ばれる環境意識の醸成や供給体制整備は今後の課題ですが、環境共生のシンボルとして、南三陸町新庁舎建設では木工事全体の施工を管理証明する「FSCプロジェクト全体認証」にも取組みました（公共事業として全国初認証）。

施工業者と木材供給側との綿密な連携もあり、全使用木材の約九割に町有林からの認証材が使用されました。平成二九年六月に歌津総合支所、九月に本庁舎が開庁し

これらの取組経緯や現しとなった構造躯体、ロビー「マチドマ」を見聞しようと、県内外からの見学者が後を絶ちません。

この他にも、気仙沼市内では地元の本質バイオマスによる発電事業が軌道に乗るなど、震災からの様々な復興に地域関係者が日夜御努力を重ねていますので、県としても支援を継続してまいります。

## 木材セミナーを盛況に開催

組合主催の木材セミナーを一月二六日に宮城木材文化ホールで開催しました。秋田県立大学木材高度加工研究所長林教授の講演でテーマは「新今さら人には聞けない木のはなし」。

初心者には初耳の、ベテランには目からウロコの話に、今期最強寒波を物ともせず参加した会場一杯熱気あふれる百人の参加者は感心しきりでした。三月に再演も。次頁参照



本庁舎ロビー「マチドマ」



## 『第十九回みやぎ木造住宅コンクール結果』

県内各地から応募作品が寄せられ厳正な審査の結果次のとおり表彰されることになりました。

なお、入賞作品は木造住宅コンクール写真集として発行しております。



最優秀賞



施主市町・施工者・設計者

**最優秀賞** 仙台市・(株)興建ハウジング・(有)ササキ設計

**優秀賞** 石巻市・(有)武山住宅・(株)ツタ設計

**優秀賞** 仙台市・(株)創建築・同

**優良賞** 仙台市・(株)気仙沼工務店・同

**優良賞** 仙台市・(株)サスティナライフ森の家・アトリエ森の舎

**奨励賞** 石巻市・アット・ホームおおもり・

ワーク舎

表彰式は二月十七日（土）午前十時半から、各後援団体等関係者列席のもとホテル白萩にて執り行います。



# 栄えの受賞

平成二九年文化の日表彰

産業功労

前理事長

亀山 征弘 氏



H.29.10.31 知事から授与される亀山氏

# 第五二回全国木材産業振興大会

全木連会長表彰状

副理事長

小野 寺 邦 夫 氏



H.29.11.9 全国大会・奈良市小野寺氏

誠にありがとうございます

# 平成三十年優良職員表彰推薦受付

組合では、永年にわたり組合員事業体の職員として業務遂行の功績が顕著で、他の模範となる方々を表彰してまいりました。

今年は三月に候補者の推薦受付、五月下旬開催の通常総会での表彰を予定しております。詳細は改めて通知します。

# セミナー等開催案内

これから開催されるセミナー等のご案内

○平成二九年度合法木材供給事業者研修会  
日時 二月十六日(金) 午後一時半

場所 ホテル白萩  
主催 宮城県木材協同組合  
内容 クリーンウッド法の概要

講師 全木連 常務 森田一行氏  
申込 当組合までお問合せください

○平成二九年度「公共建築物等木質化研修会」  
日時 二月二二日(木) 午後一時半

場所 宮城木材文化ホール  
主催 宮城県流域森林・林業活性化センター  
内容 秋田における市街地木質化の取組

講師 秋田公立美術大学 小杉栄次郎氏  
地域材を活用したLVLと施設の木質化

講師 全国LVL協会 井上国雄氏  
申込 宮城県森林組合連合会 福井  
☎022・225・5991

○平成二九年度 林団連講演会  
日時 二月二六日(月) 午後一時半

場所 ホテル白萩  
主催 宮城県林業団体連絡協議会

(仮)「地域振興に向けた森林・林業・木材産業の新たな展開について」  
講師 富士大学学長 岡田秀二氏

申込 当組合までお問合せください  
○F S C 認証材流通拡大協議会セミナー  
日時 三月二九日(木) 午後二時

場所 宮城木材文化ホール  
主催 F S C 認証材流通拡大協議会  
内容 「今さら人には聞けない  
木のはなしとF S C」

講師 秋田県立大学木材高度加工研究所  
所長兼教授 林 知行 氏

申込 (株)仙台木材市場・高橋まで  
☎022・232・1101

# 受講費助成 新入社員育成セミナー

人材の育成確保、中でも新入社員の定着育成は経営の継続発展の最重要課題の一つです。個々の事業体には難しい就業前の新人教育として、組合員各社の新入社員向けに左記セミナーへの参加経費の一部を助成します。

日時 三月二九日(木)午前十一時から  
三十日(金)午後五時 一泊二日  
場所 エスポールみやぎ(仙台市宮城野区)

主催 ニュークリエイトマネジメント  
内容 基本思考、基本姿勢、基本動作等の新人教育

料金 二万九千円(宿泊・昼食代含)  
組合から一人一万円、一社当たり三人分  
三万円を限度に助成します。詳細は組合までお問合せください。

組合へのご寄付御礼

# 組合へのご寄付御礼

マルタカ興業株式会社 高橋政市 様(石巻市)  
株式会社佐々直建設 佐々木衛一 様(加美町)  
杉本くみこ様(仙台市) 相澤守 様(石巻市)  
清水恵美子様(石巻市) 菅原彦義 様(石巻市)  
岡本嘉子様(大崎市) 引地富雄 様(丸森町)

誠にありがとうございます

# 新組合員の紹介

早坂林業(加美町)

代表 早坂篤郎 様

どうぞよろしくお願いたします

寒! 木材会館の水道管凍結が心配で水抜は欠かせません。築半世紀、RCの会館は月曜日が殊の外寒く午前中は中々温度が上がリません。やはり、木造でなくては。初夢・木材会館建て替え。今年もどうぞよろしくお願いたします。(好)